

# 第23回 生研フォーラム 開催のお礼

東京大学 生産技術研究所 地球環境工学研究グループ

謹啓，時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

2015年3月3日，4日に，東京大学生産技術研究所コンベンションホールにて，第23回 生研フォーラム「宇宙からの地球環境・災害のモニタリングとリスク評価」が開催されました。年度末のご多忙中のところ，万障お繰り合わせのうえ，生研フォーラム史上最大の109名もの方々にご出席いただきましたことを感謝致しますとともに，ここに厚く御礼申し上げます。

本年度は，北海道から長崎まで全国から駆けつけていただき，69件の研究発表が行われました。初の試みとして，27件（うち7件は留学生）の学生さんによる発表はすべてポスター発表とし，事前に提出頂いた3分間ブリーフィング音声録音ファイルに，QRコード経由でスマートフォンからアクセスする企画も好評を博しました。ポスターセッションでの議論は予想以上に白熱し，1時間では収まりきらず，うれしい悲鳴でした。参加者全員による投票の結果，吉田奈津妃（東京大学大学院修士2年），水落裕樹（筑波大学大学院修士2年），城内宏海（東京大学大学院修士2年）の3名に対して学生論文賞が授与されました。吉田さんと水落さんは引き続き博士課程に進学されるとのことで，これを励みに研究に邁進して頂きたい次第です。

また，文部科学省 GRENE 事業 環境情報分野（代表 今須良一 東大大海研）の協力を得て，特別セッションも行われ，環境と災害の情報に関わる研究者間の交流が促進されました。参加者の方々から頂いたアンケートでは「発表後に普段は接する機会が少ないリモセン専門家にコメントをいただいたりと，よい勉強になりました。」や「生研らしさがにじみ出ていて良かった。ぜひ継続して頑張ってください。」などの温かいご意見を頂戴しております。通常の学会では集約的に取り扱うことが難しい体系的な成果や技術的な討論は，懇親会の場でも議論が深まったようです。

なお，本フォーラムは，東京大学生産技術研究所 特別研究経費による助成を受け，RGOE(Research Group of Excellence)の活動として認定されております。予想をはるかに超えるご参加を頂いたため，不便な点があったとは思いますが，皆様に頂いたアンケートを参考に，より良い会となるよう努力していく所存です。来年度も引き続きご支援のほど，どうぞよろしくお願いいたします。



平成 27 年 3 月吉日  
東京大学生産技術研究所  
人間・社会系部門  
准教授 竹内 渉